

地域マスタープラン策定の流れについて【イメージ】

平成24年8月 地域づくり課

①地域の計画作りについての協議 【振興会役員を対象】

●計画作りの必要性や検討の進め方について、役員・役場担当者と協議を行う。

◆地域課題把握のための住民アンケートの実施

策定メンバーは地域の役員にこだわらない
(人材育成も兼ねる)

②プラン策定のための組織を設置する。

【既存の組織（役員会）を活用する、又は策定のための組織を設置する。】

③ワークショップ等を実施して、地域の課題や強み・弱み、地域資源などを整理し、地域住民が主体となって10年後の地域の将来像を考える。【発展型・維持型・縮小型】 検討の際は「住民アンケート」、「集落点検」や先進的な取組事例等を活用していく。

●「地域マスタープラン策定推進事業（24年度新規事業）」の活用

振興会内部での地域マスタープラン策定の機運盛り上げや一体感づくりのための「先進地調査」や「講演会開催」などの経費を助成します。

※1地区当たり100千円を予定 H24：26地区

④地域の将来像を達成するために必要な取組み（重点的に行うテーマなど）を決定する。

⑤必要な取組みの具体的内容（役割分担・財源措置・スケジュール等）を検討し決定する。

⑥「2022年の地域の姿」＝「地域マスタープラン」としてまとめる。（10年後の地域像）

●「地域マスタープラントライアル事業（24年度新規事業）」の活用

地域マスタープランを策定した振興会がプランに位置づけた各種の取組みの実証（試行）に要する経費を助成します。

※1地区当たり500千円を予定 H24：5地区

⑦実証（試行）を行った後、必要があれば地域マスタープランの修正を行う。

●「地域マスタープラン人的支援事業（24年度新規事業）」の活用

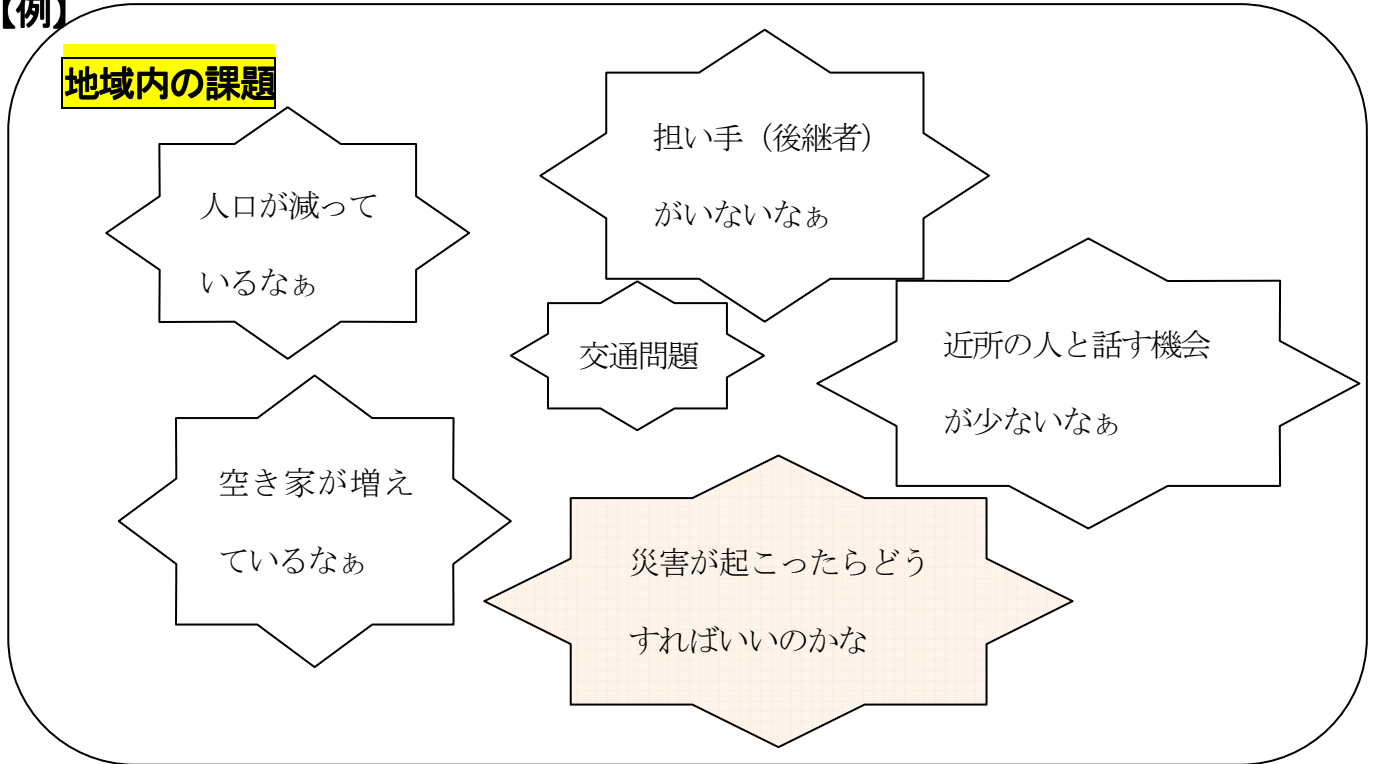
地域マスタープランを策定した振興会が必要とする人材を「地域おこし協力隊員」として町が雇用（最長3年間）し、地域活性化活動等の中核的人材として活用するとともに新規定住者の獲得を行う。

地域マスタープランの概要

○地域マスタープランは、地域が抱えている課題や地域資源を地域のみんなで共有し、課題解決に向けた取組み等を行う「地域づくり」の基本になるものです。

【例】

地域内の課題



重点テーマ

自主防災

重点テーマの
決定

具体的な取組み

自主防災組織の設立

危険個所の確認

避難方法の確認

など

防災訓練

実践により、避難経路
等を確認

地域課題解決

災害発生時対応の確立

★地域マスタープラン策定に当たっての留意点★

ステップ1

原則として地域課題把握のための住民アンケートを実施する。

具体的な地域の課題や長所の再確認

共通認識

ステップ2

ワークショップを開催し、アンケート結果を踏まえて地域の強み・弱みと課題など地域住民同士で共有したうえで重点テーマを決定する。

重点的に取り組むテーマの確認

ステップ3

自治振興会内部での情報共有を図るため、ニュースレター等を作成・配布していく。

地域住民に取組みや進行状況を周知し、地域が一体となるように働きかけをする。

ステップ4

具体的な取組みの企画・実践

重点的に取り組むテーマの確認

ステップ5

自治振興会として重点テーマ【プロジェクト】の実施体制の整備【地域内の取組み体制の構築を図る住民への啓発】

重点プロジェクトの実現性の確保
地域住民への啓発による住民参画意識の醸成
【重点プロジェクトの実現化の検証】

- 具体的な取組みに向けて、課題解決に必要となる実践（試行）を企画する。
- 小さな取組みでも良いので、マスタープラン策定の意義を実感できる取組みを企画・実践していく。